

NO.2	団体名	中山道間の宿 新加納まちづくり会	
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 新加納地区の文化・歴史遺産を次世代に継承する事業		
事業費総額	348,351 円	助成金額	231,000 円
主な経費内容	歴史パネル製作代、歴史の町先進地視察交通費、かわら版印刷代、資料用紙、インク、歴史資料送料(切手代)		
<p>●事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史パネル 9 枚(うち 1 枚は 2 枚分の大きさであるため計 10 枚分)を制作。 ・12 月 2 日(日)に、新加納地区ふれあいセンターにて歴史パネル展を開催。参加者 100 名。 ・かわら版は 6 月、11 月、3 月と 3 回、各 1,000 部発行。新加納地区の全世帯に配布した。 ・4 月 10 日(火)奈良市内(薬師寺・法隆寺)の寺院の回廊の視察・見学を行い、8 名が参加した。 			
<p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史パネルの展示 子供会を通じた小学生約 65 名を対象に行き、自分たちの住んでいる新加納の歴史、地域の昔話について、関心を持ってもらうことができた。 ・かわら版の年間 3 回の発行 新加納の最新の情報や、中山道間の宿新加納まちづくり会が現在取り組んでいる事業についてのミニコミ誌として、新加納地区全世帯に配布した。地域住民のコミュニケーションの活性化に役立っている。 ・歴史の町先進地の視察・見学 今回歴史パネルの作成にあたって、薬師寺・法隆寺の回廊や由緒書きに関心を持って視察・見学を行った。歴史パネルを新加納陣屋公園に設置していくうえで、技術的な部分とデザイン、内容や書き方、文言に至るまで細かく注意して見学した。歴史パネルは長期に渡って展示するため、耐久性に優れた材質で作る必要があるため、同じような状況で使用されていることを考えて防水効果のあるパネルを使用することで、耐久性の向上を図ることができた。 			
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>文化的で歴史的な趣のある安心・安全のまちとしての新加納地区の文化・歴史遺産を次の世代に、学習し継承していくことを目的に、主に地域の有志が中心となって設立した。</p>			

